

## 校長室の窓から 12

平成31年3月6日 大橋 綾子



### 「お話タイム」を実施しました

海田小学校では、子どもたちが楽しく元気に学校生活を過ごすことができるために、いじめなどで悲しい思いをする児童を出さないことに全教職員で取り組んでいます。同時に私たち教師は、子どもたちに何か起きた時に、相談ができる相手でありたいと思っています。相談だけでなく、日頃から子ども一人一人と話をする関係を大切にするために、海田小学校では、学期に1回は必ず、担任が子ども一人一人と話をする「お話タイム」の時間を作っています。(短い時間ではありますが)

校長である私も、学校全員の子どもたちと一人一人話をしました。これは、3学期の始業式で、子どもたちと約束したことでもあります。短い時間ですが、意外な一面を知ることができ、楽しい時間を過ごしました。

海田小学校の児童のすばらしいところは、礼儀正しいところときちんと相手を見て話ができることです。お話が終わったあと、「ありがとうございました」と自分からあいさつをする児童には、私も「こちらこそありがとう」と自然にお礼のことばが口から出てきました。

### 「音読名人」が発表しました！

3学期、海田小学校の教室からは、国語の時間、元気なはつらつとした音読の声がよく聞こえてきます。音読は、理解力を高めること、語彙を増やすこと、集中力を高めることなど多くの効果があり、学力の基礎と言える国語力を身につけることができます。

5日の朝会で、「音読名人」として、代表で、1年1組の門見君に音読の発表をしてもらいました。誰もがよく知っているレオ・レオニの「スイミー」の一場面です。

一年生のすばらしい音読に全校児童が拍手しました。

音読は、すべての学習の基盤となる語彙を豊かにします。目で字を読み、声を出し、その



声を聞くことで脳が活性化します。

教室で、声を合わせて音読することで、集中力がつき、学級としてのまとまりもできます。

3学期、全校で取り組んだ音読により、たくさんの音読名人が誕生したと思います。

「スイミーは考えた。いろいろ考えた。うんと考えた。」